

平成 21 年度 第 3 回理事会

平成 22 年 2 月 10 日(水) 15:00 ~ 16:00

盛岡第一高等学校音楽室

次第

開会		
専門部長挨拶		
自己紹介		
議長選出		
報告	1 事業報告	4
	(1) 大会事業	5
	(2) 講習会事業	5
	(3) 顧問研修事業	6
	(4) その他	6
	2 会計中間報告(平成 22 年 2 月 10 日現在)	7
	(1) 一般会計中間報告	7
	(2) 事業費会計 NHK 杯県大会 決算報告	8
	(3) 事業費会計 新人大会 決算報告	9
	(4) 事業費会計 講習会 決算報告	10
協議	1 役員選出に関する細則 別表の検討	11
	2 平成 22 年度事業の推進について	12
	(1) 役員(改選期)	13
	(2) 事業計画	13
	(3) 平成 23 年度北東北インターハイ	13
	3 その他	13
連絡	1 平成 22 年度以降の上位大会	14
	2 平成 23 年度の事業日程(予定)	15
	3 その他	15
閉会		
資料	平成 21 年度大会結果	(省略)
	岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約	(省略)
	平成 21 年度高文連紀要原稿	(省略)
	平成 22 年度全国総文祭(宮崎大会)放送部門の要項	(省略)

平成 21 年度役員

専門部長	岩手県立黒沢尻北高等学校長	上原耕太郎	
副専門部長	岩手県立盛岡第一高等学校長	千葉研二	(事務局校)
副専門部長	盛岡市立高等学校長	鈴木俊	(次期事務局校)
専門部代表理事	岩手県立盛岡第一高等学校	杉本聖房	事務局長
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	鈴木雄平	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	谷藤さなえ	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	千葉隆	平成 32～33 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	平成 34～35 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	菅野千賀子	平成 26～27 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	石原聰	平成 24～25 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	岩本秀司	平成 36～37 年度事務局校
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	金森嘉人	平成 38～39 年度事務局校
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	佐藤英靖	
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	三上隆弘	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	畑中元毅	平成 40～41 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	平成 40～41 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	鈴木一彦	監事・平成 42～43 年度事務局校
専門部理事	岩手県立雫石高等学校	石田和秀	
専門部理事	盛岡市立高等学校	鈴木勇二	監事・盛岡支部理事・次期事務局校
専門部理事	盛岡市立高等学校	小林晃	次期事務局校
専門部理事	岩手高等学校	松田満	平成 28～29 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	照井逸子	平成 30～31 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	菅原浩	平成 30～31 年度事務局校
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	高橋篤志	全国総文祭映像部門担当
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	黄川田千秋	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立花巻南高等学校	前川啓太郎	
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	芳賀範文	北上支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	三田聡	
専門部理事	専修大学北上高等学校	昆洋子	
専門部理事	専修大学北上高等学校	高橋等	
専門部理事	専修大学北上高等学校	千田省一	
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	菊地達哉	NHK 杯運営委員・全国高文連理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	久慈千鶴子	奥州支部理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	武藤秀郷	
専門部理事	岩手県立千厩高等学校	藤本武士	一関支部理事
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	高橋啓	釜石支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	大野浄美	宮古支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	阿部雄至	
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	遠藤直樹	
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	大内寿文	
専門部理事	岩手県立久慈高等学校	菊地紀子	久慈支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	千田純	二戸支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	鈴木耕二郎	
		(空席)	気仙支部理事

報告1 事業報告

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	13	月	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	15	水	理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
5	20	水	第61回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第二・盛岡白百合)	運動公園	協力事業 県高体連
5	22	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
6	5	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第56回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (20校・140エントリー・261名)	県民会館	放送専門部・NHK
6	29	月	第9回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (5校・12エントリー・19名)	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	14	火	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会 (5校・12エントリー・18名・講師1名)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21	火	第56回NHK杯全国高校放送コンテスト (8校・24エントリー・71名)	オリンピックセンター NHKホール(東京)	全放連・NHK
7	24	金	Nコン番組制作セミナー (2校・22名)	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
7	30	木	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)映像部門 (4校・4エントリー・16名)	アストプラザ(津)	全国高文連
7	31	金	全国高文連放送専門部都道府県代表者会議	松阪市産業振興センター	全国高文連
8	1	土	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門 (5校・9エントリー・22名)	松阪市民文化会館(三重)他	全国高文連
8	8	土	交通安全テレビCM制作講習会 (9校・60名)	テレビ岩手	後援事業 岩手県・TVI
8	9	日	短歌甲子園司会講習会 (3校・19名)	盛岡劇場	協力事業 盛岡市
8	21	金	第4回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡第四・盛岡市立)	姫神ホール 盛岡劇場	協力事業 盛岡市
9	2	水	第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
9	11	金	東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	ジョイナス(秋田)	東北高文連
9	27	日	セミナーサポート事業 放送講習会 (24校・129名,うち県外13校・16名)	盛岡第一高校	放送専門部
10	2	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式 (宮古・岩泉田野畑)	宮古市民文化会館	県高文連 (宮古支部主管)
10	8	木	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー (17校・182名・講師4名)	県民会館他	放送専門部
11	4	水	いわて教育の日記念行事 司会 (盛岡第一)	県民会館	協力事業 県教育委員会
11	9	月	第6回交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	後援事業 岩手県・TVI
11	13	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第27回岩手県高等学校放送新人大会 (18校・177エントリー・190名)	県民会館	放送専門部
12	25	金	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会 (8校・43名・講師4名)	盛岡第一高校	放送専門部
12	27	日	校内放送指導者講座 (3名派遣・計5名参加)	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
1	9	土	番組講習会 (9校・55名・講師2名)	テレビ岩手	放送専門部 盛岡支部
2	5	金	第13回東北高等学校放送コンテスト (11校・36エントリー・77名)	秋田県民会館・ジョイナス	東北高文連
2	8	月	県高文連第2回理事会	サンセール盛岡	県高文連
2	10	水	第3回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
2	(下旬)		会計監査,盛岡市立高校へ引継ぎ	盛岡第一高校	放送専門部
3	27	土	第57回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
3	30	火	番組講習会	アイーナ	放送専門部 盛岡支部

(1) 大会事業

いずれも第 32 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会として開催しました。

全結果は 16 ページ以降をご覧ください。

ア 第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 6 月 5 日(金) 県民会館

・NHK 杯全国大会(平成 21 年 7 月)の予選として実施

イ 第 27 回岩手県高等学校放送新人大会 11 月 13 日(金) 県民会館

・東北高等学校放送コンテスト(秋田大会,平成 22 年 2 月)ならびに第 34 回全国高等学校総合文化祭放送部門(宮崎大会,平成 22 年 8 月)の予選として実施

・第 34 回全国高総文祭参加推薦は次のとおり

アナウンス部門...盛岡白百合学園(2)井形美紀,盛岡第一(1)饗庭佑奈,宮古(2)舘洞ひかり

朗読部門...盛岡第一(2)小笠原舞子,盛岡第二(2)伊藤咲希,宮古(1)船越絵雅

オーディオビクチャー部門...宮古,ビデオメッセージ部門...黒沢尻北・岩手

ウ 上位大会等

第 10 回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (6/29-30 担当:岩谷堂高校 菊地達哉)
岩手県高文連放送専門部の主管で実施

第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト (7/21-24 担当:岩谷堂高校 菊地達哉)

5 年連続決勝進出(朗読・盛岡第一 小笠原舞子)。県勢の入賞 9 は 2007 年と並ぶ史上最高

第 33 回全国高等学校総合文化祭映像部門 (7/30-31 担当:花巻北高校 高橋篤志)

入賞なし

第 33 回全国高等学校総合文化祭放送部門 (8/1-2 担当:岩谷堂高校 菊地達哉)

入賞なし

第 13 回東北高等学校放送コンテスト (2/5-6 担当:盛岡市立高校 鈴木勇二)

岩手高校のテレビキャンペーン部門最優秀賞など,県勢の入賞 12 は史上最高

(2) 講習会事業

セミナーサポート事業,盛岡支部事業,上位大会関連事業,協力事業関連として実施しました。

ア 放送専門部・盛岡支部主催

アナウンス朗読講習会 7 月 14 日(火) NHK 盛岡放送局

上原康樹アナ(NHK 盛岡局)による全国大会出場者への指導

放送講習会 9 月 27 日(日) 盛岡第一高校

長崎県 活水高校放送部顧問・岩永克子先生と部長 麻生志保さんを招聘。県外校も参加

メディアコミュニケーションセミナー 10 月 8 日(木) 県民会館・テレビ岩手

平井直子・佐々木款(テレビ岩手)・照井健・高橋典子(IBC 岩手放送)各氏による部門別の講習

アナウンス朗読講習会 12 月 25 日(金) 盛岡第一高校

安田知博氏による東北大会出場者等への指導

番組講習会 1 月 9 日(土) テレビ岩手

中野圭・佐々木款(テレビ岩手)両氏による東北大会出場校への指導

番組講習会 3 月 30 日(火) アイーナ

平谷美樹氏によるドラマ制作についての指導

イ 上位大会関連・協力事業関連

N コン番組制作セミナー (7/24 東京 NHK ふれあいホール)

NHK 杯全国大会後に東京で実施。NHK 市谷壮 CP 他による指導。盛岡白百合と盛岡第一が参加
短歌甲子園司会講習会・第 4 回全国高校生短歌大会司会 (8/9・21-23 盛岡劇場)

畑中美耶子氏による指導。盛岡第一・盛岡第四・盛岡市立が担当

交通安全テレビ CM 制作講習会・第 6 回高校生交通安全テレビ CM コンテスト

(8/8・11/9 テレビ岩手・盛岡グランドホテル)

佐々木款・中野圭(テレビ岩手)両氏による指導

その他

県高総文祭総合開会式(10/2 宮古・岩泉田野畑), 高総体開会式司会(5/20), いわて教育の日
記念行事司会(11/4), IAT 純情応援歌(6-7 月), IAT シリーズ卒業(3 月)

(3) 顧問研修事業

校内放送指導者講座(12/27-28 千代田放送会館)に 3 名を派遣 2 名の参加補助をおこないました。

この講座への岩手からの参加者は累計 15 名(複数回参加を除く)となり, 指導力・審査力の向上に
つながっています。

(4) その他

ア 規約・細則の改定...理事総会(第 1 回理事会)で実施

イ 部員数調査...第 2 回理事会で報告

ウ 審査基準見直しの検証...第 2 回理事会で報告

エ 高文連表彰...第 2 回理事会で報告

次のとおり県高文連に推薦し, 県高総文祭総合開会式(10/2(金), 宮古市民文化会館)で表彰
連盟賞(生徒表彰)...平成 20 年 9 月 1 日~平成 21 年 8 月 31 日に全国大会(総文祭・NHK 杯など)
で優良賞(3 位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

・小笠原舞子(盛岡第一 2 年)...NHK 杯朗読部門優良賞

功労賞(教職員表彰)...平成 20 年度末に退職した教職員で, 専門部長・常任理事(専門部事務
局長等)経験者, 指導者として全国大会優良賞(3 位)以内に入賞したもの, 指導者として全
国大会に 10 回以上出品・出演させたもの。

・遠藤洋一先生(盛岡第一)...平成 20 年度放送専門部長

・渡邊憲二先生(盛岡第三)...平成 20 年度 NHK 杯朗読部門優良賞ほか

・岩本秀司先生(盛岡南)...平成 12 年度放送専門部事務局長

オ 役員選出に関する細則 別表の検討...第 3 回理事会で協議

報告2 会計中間報告(平成22年2月10日現在)

(1) 一般会計中間報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 前年度繰越	243,336	243,336	0	
B 登録料				
B-01 学校登録料	120,000	120,000	0	NHK杯県大会参加校1校あたり6,000
B-02 個人登録料	80,000	79,500	-500	講習会参加生徒1人あたり500
登録料小計	200,000	199,500	-500	
C 参加料				
C-01 NHK杯県大会参加料	130,000	140,000	10,000	1エントリーあたり1,000
C-02 新人大会参加料	150,000	177,000	27,000	1エントリーあたり1,000
参加料小計	280,000	317,000	37,000	
D 補助金				
D-01 県高総文祭部門費	80,000	80,000	0	NHK杯・新人大会
D-02 セミナーサポート費	391,000	391,000	0	講習会
D-03 強化費	50,000	50,000	0	講習会
D-04 専門部補助	170,000	170,000	0	講習会・研修会・新人大会
D-05 研修費	50,000	50,000	0	講習会
補助金小計	741,000	741,000	0	
E 雑収入	664	94	-570	利子
合計	1,465,000	1,500,930	35,930	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 運営費				
A-01 分担金	10,000	10,000	0	東北高文連放送部会費
A-02 事務費	10,000	2,701	7,299	事務費・通信費・会議費
運営費小計	20,000	12,701	7,299	
B 会議旅費				
B-01 諸会議	70,000		70,000	第3回理事会
B-02 県外諸会議	120,000	163,015	-43,015	東北・全国会議
会議旅費小計	190,000	163,015	26,985	
C 事業費				
C-01 NHK杯県大会	260,000	160,095	99,905	事業予算・決算別途
C-02 新人大会	260,000	240,850	19,150	事業予算・決算別途
C-03 講習会	401,000	522,563	-121,563	事業予算・決算別途
C-04 研修会	240,000	216,205	23,795	全国研修会等派遣補助
事業費小計	1,161,000	1,139,713	21,287	
D 予備費	94,000	0	94,000	
総計	1,465,000	1,315,429	149,571	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 1,500,930 - 1,315,429 = 185,501 (次年度繰越金)

- ・ 今後、利子の収入と第3回理事会旅費の支出がある見込み。
- ・ 繰越金は会計規模の10%程度の見込み。

(3) 事業費会計 新人大会 決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	更正予算額	決算額	予算残高	備考	
一般会計より	260,000	240,850	-19,150	一般会計支C-03	
内訳	参加料	150,000	177,000	27,000	一般会計収C-02
	県高総文祭部門費	59,905	59,905	0	一般会計収D-01
	専門部補助	50,095	3,945	-46,150	一般会計収D-04
合計	260,000	240,850	-19,150		

2 支出の部

項目	更正予算額	決算額	予算残高	備考	
A 報償費					
A-01	審査員謝金	80,000	89,098	-9,098	22,222*4、振込手数料
A-02	表彰費	55,000	49,490	5,510	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計		135,000	138,588	-3,588	
B	旅費	70,000	40,865	29,135	
C 需用費					
C-01	食糧費	40,000	36,704	3,296	審査員・係昼食
C-02	資料費	5,000	23,108	-18,108	事務用品
需用費小計		45,000	59,812	-14,812	
D	役務費	5,000	1,585	3,415	郵券・上位大会手続き・手数料
E	予備費	5,000	0	5,000	
総計		260,000	240,850	19,150	

3 残高

収入済額 - 支出済額 = 240,850 -240,850 = 0

監査の結果、適正と認めます。

平成22年2月10日

監査 鈴木 一彦

監査 鈴木 勇二

・更正予算(第2回理事会で承認)による。

(4) 事業費会計 講習会 決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目	予算額	決算額	予算残高	備考	
一般会計より	401,000	522,563	121,563	一般会計支C-03	
内訳	セミナーサポート費	391,000	391,000	0	一般会計収D-02
	強化費		50,000	50,000	一般会計収D-03
	専門部補助	10,000	31,563	21,563	一般会計収D-04
	研修費		50,000	50,000	一般会計収D-05
合計	401,000	522,563	121,563		

2 支出の部

項目	予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費	120,000	111,110	8,890	講師謝礼@22,222/日(うち源泉徴収税額@2,222)
B 旅費				
B-01 講師旅費	80,000	234,980	-154,980	高文連規定による定額
B-02 講師宿泊費	60,000	49,000	11,000	高文連規定による定額
旅費小計	140,000	283,980	-143,980	
C 需用費				
C-01 資料作成費		0	0	
C-02 印刷代	100,000	92,400	7,600	テキスト@496.125*200部
C-03 教材作成費		0	0	
C-04 講師昼食代	20,000	15,353	4,647	講師・役員
C-05 消耗品費	5,000	0	5,000	
需用費小計	125,000	107,753	17,247	
D 役務費				
D-01 郵便料金	5,000	280	4,720	
D-02 宅配料金		0	0	
D-03 運搬費		0	0	
D-04 振込手数料	5,000	840	4,160	
D-05 その他通信費		0	0	
役務費小計	10,000	1,120	8,880	
E 予備費	6,000	18,600	-12,600	次年度会場費(次年度は項目を起こす)
総計	401,000	522,563	-121,563	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 522,563 - 522,563 = 0$$

監査の結果、適正と認めます。

平成22年2月10日 監査 鈴木 一彦

監査 鈴木 勇二

・事業ごとの支出額は次のとおり。

アナウンス朗読講習会(7/14)	0円	(NHK杯会計より4,820円)
放送講習会(9/27)	231,780円	
メディアコミュニケーションセミナー(10/8)	197,042円	
アナウンス朗読講習会(12/25)	73,132円	
番組講習会(1/9)	2,009円	(盛岡支部会計より5,000円)
次年度会場費	18,600円	
合計	522,563円	

協議 1 役員選出に関する細則 別表の検討

役員選出に関する細則の附則 2 により、別表 1 および別表 2 を検討します。

規約・細則の全体は 23 ページ以降をご覧ください。

(1) 別表 1 役員案作成に関する事項

原案...改定しない。

理由...役員選出に関する細則と、上位の規定である岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約を、今年度の理事総会(第 1 回理事会)で改定したため。

役員選出に関する細則 別表 1 役員案作成に関する事項

専門部長 岩手県高等学校長協会の推薦による。

副専門部長 事務局校の校長ならびに次期事務局校の校長とする。

専門部代表理事(事務局長) 事務局校の専門部理事とする。

専門部理事 大会(NHK 杯全国高校放送コンテスト岩手県大会、岩手県高等学校放送新人大会等)に参加する学校ならびに盛岡支部の学校を原則とする。

監事 前事務局校と次期事務局校とする。

備考 専門部長について 2009(平成 21)年 4 月の岩手県高等学校長協会の推薦は、岩手県立黒沢尻北高等学校長。

(2) 別表 2 事務局の輪番に関する事項

原案...改定しない。

理由...部員数調査により、9 番以降の各校で放送部等の改廃が想定されないため。また、9 番以降の各校は大会に参加しており、別表 1 の専門部理事の条件の両方に該当するため。

役員選出に関する細則 別表 2 事務局の輪番に関する事項

1 盛岡白百合学園 1996～1997 年度・2018～2019 年度

2 盛岡第二 (インターハイ式典)・2020～2021 年度

3 盛岡第三 1998～1999 年度・2022～2023 年度

4 盛岡南 2000～2001 年度・2024～2025 年度

5 不来方 2002～2003 年度・2026～2027 年度

6 盛岡工業 2004～2005 年度・2028～2029 年度

7 盛岡商業 2006～2007 年度・2030～2031 年度

8 盛岡第一 2008～2009 年度・2032～2033 年度

9 盛岡市立 2010～2011 年度

10 盛岡北 2012～2013 年度

11 盛岡第四 2014～2015 年度

12 岩手 2016～2017 年度

(12 番の次は 1 番に戻る)

備考 輪番制は 1996(平成 8)年度から実施している。

輪番については、記載順を原則とする。

協議2 平成22年度事業の推進について

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中旬		理事総会・第1回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
6	8	火	第33回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第57回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	28 29	月 火	第10回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	中旬		アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	水 土	第57回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	24	土	Nコン番組制作セミナー	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
8	3	火	全国高文連放送専門部都道府県代表者会議	清武文化会館(宮崎)	全国高文連
8	4 5	水 木	第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)放送部門	清武文化会館(宮崎)	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
9	19	日	放送講習会	おでってホール	放送専門部
9	下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(福島県)	東北高文連
10	1	金	第33回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	二戸市民文化会館	県高文連 (二戸支部主管)
10	13	水	メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	9	火	第33回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第28回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
12	24	金	アナウンス朗読講習会	県民会館	放送専門部
12	26 27	日 月	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
1	上旬		番組講習会	(盛岡)	放送専門部
1	22 23	土 日	第14回東北高等学校放送コンテスト	ビッグパレット福島(郡山)	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡市立高校	放送専門部
3	下旬		第58回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

(1) 役員(改選期)

- ・平成 22 年度理事総会(第 1 回理事会)で正式決定します。
- ・専門部代表理事(事務局)は盛岡市立に移ります。その他は規約ならびに役員選出に関する細則によります。
- ・専門部理事は、「大会に参加する学校ならびに盛岡支部の学校」を原則とすることから、現在の理事校で顧問が交代する場合は、引き続き理事校であることを引き継いでください。また、新たな大会参加校も理事校となつていただきます。

(2) 事業計画

従来どおり、大会事業・講習会事業・顧問研修事業・その他の 4 つで構成します。次の日程原則により、前ページのとおり会場を確保しています。

- ・NHK 杯県大会(県民会館)
原則：6 月第 2 週の月曜(準備)・火曜(大会)...高総体後・考査前
- ・放送講習会(おでってホール)
原則：9 月第 3 日曜(行事)(敬老の日の前日)
- ・メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)
原則：10 月第 2 火曜(準備)・水曜(行事)(体育の日の翌日・翌々日)...高総文祭開会式後
- ・新人大会(県民会館)
原則：11 月第 2 週の月曜(準備)・火曜(大会)...運動部の新人大会後・考査前

(3) 平成 23 年度北東北インターハイ

北東北総体では、以下のとおり、県内 7 町村で競技がおこなわれます。個別の会場での協力要請が予想されます。また、主担当(総合開会式など)の青森県からは、開会式前に流すビデオの共同制作が打診されています。北東北総体の競技や運営に携わる人をテーマにテレビドキュメントを制作したいとのことです(担当：青森工業高校・大川智紀先生)。

岩手県内の競技種目別大会

盛岡市	水泳(競泳・飛込)・弓道
花巻市	ハンドボール・ボート
北上市	陸上競技
奥州市	ウエイトリフティング
一関市	体操(体操競技)
宮古市	レスリング・ヨット
岩手町	ホッケー

協議 3 その他

連絡 1 平成 22 年度以降の上位大会

(1) 確定している日程等

ア NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

平成 22 年 7/24(土), 平成 23 年 7/28(木), 平成 24 年 7/26(木), 平成 25 年 7/25(木)

イ 全国高等学校総合文化祭開催県

平成 22 年宮崎県 平成 23 年福島県 平成 24 年富山県 平成 25 年長崎県 平成 26 年茨城県

ウ 東北高等学校放送コンテスト開催県

平成 22 年度福島県 平成 23 年度青森県 平成 24 年度岩手県 平成 25 年度宮城県 平成 26 年度山形県 平成 27 年度秋田県

秋田から時計回りを原則とする。21 年度からの 3 回目めのローテーションでは, 23 年度の全国総文祭に備えて 22 年度に福島県を入れ, 他をずらす。

(2) 平成 22 年度 NHK 杯の朗読指定作品 http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

1) 「小僧の神様・城の崎にて」志賀直哉(新潮文庫, 収録作品のいずれも可)

2) 「美の呪力」岡本太郎(新潮文庫)

3) 「永遠の出口」森絵都(集英社文庫)

4) 「赤毛のアン」モンゴメリ著, 村岡花子訳(新潮文庫, 指定された訳者のみ)

5) 「枕草子」清少納言(現代語訳不可, 出版社不問)

* 朗読のはじめに, 番号, 氏名, 著者名(訳者名は読まない), 書名((1)は短編名)を読む

(3) NHK 杯のメディア変更...平成 22 年度から

・ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門...CD-DA 形式(オーディオ CD)

・テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門...DVD-video 形式

(4) 全国総文祭放送部門の表彰

・早ければ平成 23 年から, 文部科学大臣賞・文化庁長官賞を, 都道府県単位で出す方向。都道府県ごとの成績集計方法については, 平成 22 年度の検討課題とする。

(5) 全国総文祭放送部門の部門

・従来の部門を変更しない(アナウンス 3・朗読 3・AP1・VM2)。

・平成 24 年の富山大会では, この回独自の部門として, CM 部門(30 秒, うち 10 秒以上を富山で取材して現地で完成させる)を設ける予定。

(6) 全国総文祭放送部門のメディアの変更

・早ければ平成 23 年から, NHK 杯と同様, CD-DA と DVD-video 形式を加える(現行は MD と miniDV)。

(7) 平成 22 年度全国総文祭(宮崎大会)放送部門の要項

・32 ページ以降をご覧ください。

(8) 平成 22 年度東北高等学校放送コンテスト(福島大会)について

・キャンペーン部門のテーマ...「あこがれ」

・メディアは NHK 杯に準じて検討する(DVD-video・CD-DA)

連絡2 平成23年度の事業日程(予定)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中旬		理事総会・第1回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
6	7	火	第34回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第58回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	27 28	月 火	第11回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	中旬		アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	25 28	月 木	第58回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	28	木	Nコン番組制作セミナー	(東京)	全放連・NHK
8	5	金	全国高文連放送専門部都道府県代表者会議	(福島県)	全国高文連
8	6 7	土 日	第35回全国高等学校総合文化祭(福島大会)放送部門	ビックパレット福島(郡山)	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
9	18	日	放送講習会	(盛岡)	放送専門部
9	下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(青森県)	東北高文連
10	7	金	第34回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	県民会館	県高文連 (盛岡支部主管)
10	12	水	メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	8	火	第34回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第29回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
12	下旬		アナウンス朗読講習会	(盛岡)	放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
1	上旬		番組講習会	(盛岡)	放送専門部
2	上旬		第15回東北高等学校放送コンテスト	(青森県)	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査,盛岡北高校へ引継ぎ	盛岡市立高校	放送専門部
3	下旬		第59回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

連絡3 その他

(1) 高文連登録について

新年度の県高文連登録(顧問名登録ならびに生徒登録)の際は、委員会組織の場合も手続きをするよう、各校で取り計らい下さい。

(2) 盛岡支部主催 番組講習会 担当: 岩手高校 松田満

3/30(火)にアイーナで開催。講師は平谷美樹氏。要項は別途配布(ウェブにも掲載)。

(3) 高文連理事会報告

- ・総合開会式の会場と担当は次のとおり。

平成22年度二戸支部(福岡高),平成23年度盛岡支部(盛岡白百合学園),

平成24年度気仙支部,平成25年度奥州支部

- ・平成22年度の高文連補助金のうち,セミナーサポート費は40万円が認められています。

資料 平成 21 年度大会結果

(省略 放送専門部のサイトを参照ください)

資料 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略 第 1 回理事会資料を参照ください)

資料 平成 21 年度高文連紀要原稿

(省略 当日配布)

資料 平成 22 年度全国総文祭(宮崎大会)放送部門の要項

(省略 放送専門部のサイトを参照ください)